

科目内容

領域名	リハビリテーションに関する領域
科目名	生活支援のための運動学
教育目的	・介護福祉士として生活支援に必要な運動生理を理解し、支援することができる力を育成する
到達目標	・筋・骨・関節など運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。 ・関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。 ・日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。
時間数	10時間
含むべき内容	○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作） ○運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ○摂食嚥下における解剖・運動生理
含むべきキーワード	身体各部の名称、骨、筋、関節、神経、解剖生理、運動、摂取と代謝、モーメント、摂取と代謝
考えられる展開	○集合研修（講義）又は課題学習によって研修を展開する。 ○身体表面のランドマーク、骨、関節、関節可動域、筋、中枢神経、末梢神経等の解剖生理は個別に課題を与え、自己学習を可とする ○その他の内容も課題学習を可とする。
課題学習の可否	全部可・一部可・否 ※通信学習（e-ラーニングやビデオ学習を含む）の手法も可
留意事項等	○なるべく広範に知識を教授すること
修了評価の方法	筆記試験(50問程度、100点満点中60点以上が合格) 【特記事項】この科目は自己学習で試験だけを受けることができる。
受講要件	特になし
講師要件	・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了していることが望ましい ・日常業務で介護福祉士と共に働いた経験のあるリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・作業療法士等）、または、リハビリテーション科専門医（大学講師以上）が望ましい